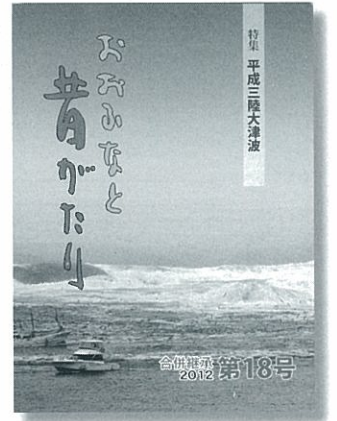


## 震災体験を記録した 「おおふなと昔がたり」を発行

～岩手県大船渡市老連



老人クラブの  
応援マーク



私たちは都合の悪いことはすぐに忘れてしまいがちである。

「忘れること」が人間にとって大切な能力だとしても、

未来を考えるためにも、忘れてはいけない過去はたくさんあり、

それらは、確かな記録として後世に伝えていかなければならない。

「おおふなと昔がたり」より

大船渡市老連では、地域の文化、昔話や生活体験などを伝えるため、会員の執筆による「昔がたり」を毎年発行しています。震災後の第18号では、平成三陸大津波特集として、通常原稿に加えて、震災体験などを20人が寄稿しました。一部を紹介します。

●裸足で車に飛び乗り助かった男性は、自宅と事務所すべてを失いました。「昭和8年津波も体験したが、今度のは人生90年のうちで、まさに悪夢」「今は仮設で

ひとり住まい。長男夫婦が『こっちへ来て』と言ってくれるが、親戚友人知人がいっぱいいて、住み慣れたこのふるさとでの暮らしは、正直何物にも替え難い。早く山菜採りの季節が来ればと、首を長くして待っている今日このごろである」

●家を流された女性は、震災3日目に土台だけになった家に戻りました。「ふと見ると、玄関脇の南天の木が目に入りまして。その姿を見た瞬間、大きな声で泣いてしまいました。私たちを待っていてくれたのか、と語りかけ、勇気が湧いてきました」。友達の家の庭を借りて植え、「南天が我が家の宝物」となりました。「人間一人では生きていけない、助け合って生きるものだ」と心底思い知らされました。仮設住宅でお互いに助け合い励まし合い、この仮設で良かったとしみじみ感じます」

冊子は2千部を発行し、市内の小中学校や施設などに無償配布、会員向けに頒布しています。ご希望の方には1冊1000円(税込)、送料実費で販売しますので、左記までお申し込みください。

〒0222-0006

大船渡市立根町字下欠125-12

大船渡市老人クラブ連合会  
☎0192-2710001  
FAX 0192-2710800

### お礼の手紙(抜粋)を紹介します

～仙台市・佐保山みどり会

全国の老人クラブの皆様から、救援拠金と元気袋の支援、本当にありがとうございました。私たちの町は比較的被害は少ないのですが支給されました。これまで災害時にはわずかですが協力していましたが、700万人の絆が集まると偉大な力になることを、いただく立場になり初めてわかりました。

元気袋は、町内敬老会でクラブ加入に関わらずみんなに手渡し、全国のクラブが応援していることを説明し、拍手で喜んでいただきました。

救援拠金では、グラウンド・ゴルフに「3・11杯」の大会を春秋に設けることとし、優勝カップを購入しました。救援拠金をいただいたことを忘れることなく、子どもたちへ引き継いでいけると思っています。また、災害時の炊き出し用品にもあてました。

お礼、遅くなりましたが、会員の皆様によりしくお伝えください。

(会長 高橋精史)